

課後児童クラブ・障害児放課後ケア事業者が手をつなぎ、顔のつながる関係作りを始めました。このあたりの取組みにヒントを得ながら、地域施設としてできることを探っていきましょう！

水先案内人：谷津尚美（子どもの放課後支援をすすめる会、仙台市）

### 第3分科会：次世代育成後期行動計画づくりに加わろう！

次世代育成後期行動計画の策定が佳境です。子どもを含む多くの住民、関係者の力を束ねて練り上げる行政計画に、子どもの育ちを力強く支援する有効な施策を多々盛り込みたいものですね。そのために、児童厚生員や放課後児童指導員の皆さんほか、子ども施設の担い手たちの積極的な参画や施策の提言が期待されています。いざ、現場の声と知恵を持ち寄ろう！

一人親の子育て支援”策をつくらう！堀田菜菜江さん（NPO法人すくすく保育研究所、宮城県登米市）

水先案内人：立柳聡（福島県立医科大学）

## 4. 全体会

各分科会からの報告 来年度に向けて

《お知らせ》

会場に情報交換のコーナーを設けます。あなたの館やクラブのお知らせ、紹介などお持ちください。

6階セミナーホール 15：45～16：00

## 第11回 東北の児童館・放課後児童クラブ学びと交流の集い

開催要項

### 子どもの貧困～地域子ども施設はどう向き合うのか～

「東北の児童館・放課後児童クラブ学びと交流の集い」では、固有の子ども文化を持つ東北の地域子ども施設やそれを支える人たちの知恵と情熱を一つに束ねるための出会いと学びを10年間続けてきました。

今回のテーマは「子どもの貧困」。昨年来の世界的な経済危機の中で、格差は拡大するばかり。社会や家庭がひっ迫する中で、子どもたちはどう過ごしているのでしょうか。各地の子どもたちの状況と取り組みを報告し合い、明日への希望につなげたいと思います。

目玉企画はプレイベント！企画立案運営すべて中高生に任せた「中高生ライブ」です。希望を見出しにくい時代をどう生き抜こうとしているのか、次世代を担う彼らの活動のこれまでもご紹介いたします。

なお、この集いは、独立行政法人国立青少年教育振興機構の子どもゆめ基金による助成事業として行います。

日時：2009年9月12日（土）15：00～18：00 プレイベント：中高生ライブ

18：30～20：30 交流会

9月13日（日）9：30～16：00 「子どもの貧困」シンポジウムと分科会

場所：仙台市市民活動サポートセンター セミナーホール他（地図は4頁参照）

対象：東北地方各県の児童館、放課後児童クラブ職員、自治体や振興団体などの担当職員。子育て・子育て支援活動関係者、ほか関心のある方、開催趣旨に賛同される方などなだでも。

参加費：800円（学生・院生・18歳以下は無料）※プレイベントは無料 交流会飲食代は別途

申し込み：郵送・FAX・E-mailにて9月5日まで ※それ以降は、当日受付とします

〒980-0811

宮城県仙台市青葉区一番町4丁目1-3 仙台市市民活動サポートセンターNo.62

東北の児童館・放課後児童クラブ学びと交流の集い 宛

FAX: 022-215-9867

E-mail: [touhokutudo@yahoo.co.jp](mailto:touhokutudo@yahoo.co.jp)（第11回集い実行委員会事務局）

主催：「東北の児童館・放課後児童クラブ学びと交流の集い」世話人会

<http://plaza.rakuten.co.jp/touhokutudo/>

後援：宮城県、仙台市、青森県、秋田県、岩手県、福島県、東北地方各県児童館・学童保育連絡協議会、

日本社会福祉学会東北部会、仙台ひと・まち交流財団、NPO法人みやぎ・せんだい子どもの丘、NPO

法人FOR YOU!ここにこの家、NPO法人せんだい社の子ども劇場、(財) 仙台YMCA、NPO法人チャイル

ドラインみやぎ、放課後ケアネットワーク仙台、NPO法人冒険あそび場-せんだい・みやぎネット

ワーク、CAPみやぎ、NPO法人みやぎ県子ども・おやこ劇場、(以上、前回後援団体に申請中)

協力：東北福祉大学学生サークル「ふたばクルーズ」、こどものほんのみのみせポラン

全日本建設交通一般労働組合全国学童保育部会（申請中）

問合先：〒960-1295 福島市光が丘1番地 福島県立医科大学看護学部（立柳）

TEL: 024-547-1837 E-mail: [tachiyan@fmu.ac.jp](mailto:tachiyan@fmu.ac.jp)



【交通案内】 ご来館には公共交通機関をご利用ください。

- JR 仙台駅・西口徒歩10分以内 地下鉄広瀬通駅 西5番出口すぐ
- 高速バス「フォアラス前」下車目の前 市営バス「商工会議所前」徒歩3分

「東北の児童館・放課後児童クラブ学びと交流の集い」世話人会

世話人会代表：高橋俊郎（仙台市・東北福祉大学教授・元仙台市学童保育連絡協議会会長）

副代表：阿部且子（秋田市・元児童厚生員） 出崎真里（青森市・「青森のこどもの居場所を考える集い」実行委員会）

事務局：立柳 聡（福島市・子どもの権利条約フォーラムふくしま、福島県立医科大）

1. プレイイベント 中学生ライブ 15:00～18:00 (開場14:30)

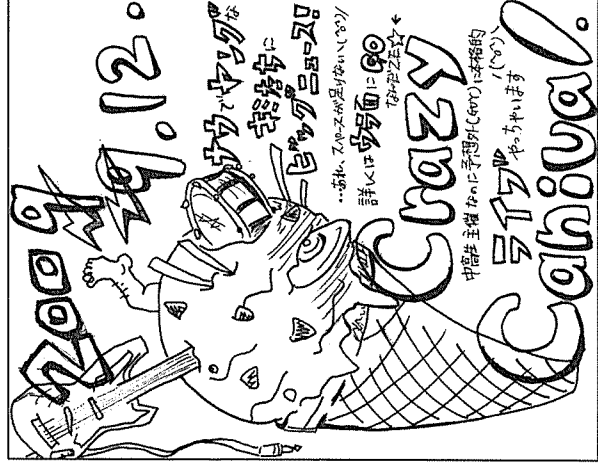
“クレイジーカーニバル はっちゃけ文化祭 ひあぁあ!!～中高生叫べ～”

このライブは、自分の気持ちを表現しようとする中高生のためのものです！  
 今年は中学生企画をライブ形式にし、よりアクティブな中高生同士の出合いの場を作りたいと思います。  
 毎日、友だちや家族に囲まれて、楽しいけれど何か足りない... 自分のやりがあってよくなるからない...  
 そんな中高生の誰もが思うその“気持ち”を表現する場、それがこのライブです。  
 中高生の“気持ち”、「やればできる」という力がこのライブの主要成分！  
 バンド、ダンス、演劇、民族舞踊...かたちにとらわれないライブを自分たちで作ります！  
 活動の様子は、携帯ブログに更新中！ <http://lyze.jp/crazyfes/> (中高生実行委員)

予定されている内容

- \* バンド演奏
  - エレクトリックバンド
  - アコースティックデュオ ・ 吹奏楽
- \* アクトライブ
- \* 朗 読
- \* 主 張 (ことばや絵にのせて)
- \* 高校生の活動 宣伝
- \* 沖縄流創作舞踊「疾風乱舞」  
みんなので沖縄宴会ハヤシ
- ☆ ゲスト：歌って踊れる社会福祉士を目指す!!  
野島 大源さん (東北福祉大学3年)
- ☆ 音響 および 音響指導：本儀 拓さん

♪ 出演者・バンド名は、ブログで発表します ♪



中高生は、学校で6時間7時間と授業を受け、部活をし、時間がない中集まって、このライブを立ち上げようとしています。

スタッフ募集、出演者への呼びかけ、現状分析、広告作り、MLやブログのたち上げと、すべて自分達で行っています。そんな姿に協力したいと手を挙げるおとなたちも現れています。中高生はエネルギーと可能性に満ちていると実感！今回がきっかけとなり、ライブイベントがゴールではなく、来年、再来年の中高生たちのムーブメントのきっかけ作りになればと、微力ながら大学生実行委員も応援しています。

2. 交流会 各地の集会報告・開催案内 18:30～20:30

昨年は青森でプレ集会、今年には山形でプレ集会在開催され、今秋には第2回青森集会在予定されるなど、地域集会在徐々に広がっています。東北各地から集まった仲間の集会在報告やこれから開催される集会在案内に耳を傾けながら、交流の輪を広げましょう。飛び込みのプレゼンもOK！プレイベントに参加した中高生も含めて、世代や地域を超えた交流を楽しみましょう！交流会だけの参加大歓迎！！

飲食代として、2,500円程度 別途徴収

開 場：9:30 開 会：9:50

1. シンポジウム 6階セミナーホール 10:00～12:00

子どもの貧困 ～地域子ども施設はどう向き合うのか～

「貧困」が、遠い世界のどこかの出来事ではなく目の前に広がる現実となってしまう今、「貧しいながらも楽しい我が家」は死語なのでしょうか？低賃金で長時間労働に追われる親、正規雇用ゆえ人員削減で過重労働の親。仙台市児童保育連絡協議会の調査では、児童保育が終わる時間に帰宅できる親は4分の1、正規雇用では1割弱。深夜労働も増えています。福生市武蔵野台児童館では、昼食を食べない子どもが3割、深夜公園で過ごし児童館に寝に来る子がいるという現実を前に、地域に呼び掛け出しに取り組みました。生活が整わなければ学力どころではありません。授業料が高くて高校に通うことをあきらめる仲間のために活動する高校生たちもいます。解決を模索する彼らのキーワードは「つながる」

話をしてくださる人：

- \* 市民の手で行った児童保育実態調査から、孤立する親と児童保育の現状を報告する  
仙台市児童保育連絡協議会事務局長 大沼万由美さん
- \* 夜間も公園で過ごす子どもたちに地域で支援をと児童館で取り組む  
東京都福生市武蔵野台児童館館長 菊田恭子さん
- \* 授業料のことで高校進学をあきらめるな！私学助成に取り組む高校生  
シガトモ (私学助成を訴える女の会) 聖光学院高校3年 八巻一樹さん

話の引き出し役： 木附千晶さん

昼 食 (12:00～13:00) 子ども応援フォーラム設立の報告 (12:50～13:00)

2. 日本の子どもの貧困 ～子どもの権利の視点から～ 13:00～14:00

カウンセラーとして日々困難を抱える子どもたちと向き合い、またジャーナリストとして日本の子どもたちをみつめてきた木附千晶さんをお呼びしました。パネリストの皆さんのお話を整理していただき、子どもの権利の視点からみた 今日の子どもの状況とその展望をお話いただきます。

話し手：木附千晶さん (OCI日本支部『子どもの権利モニター』編集長・カウンセラー)

3. 分科会 話題提供者も入りさらに深く追求していきます！ 14:15～15:45

第1分科会：子どもの育ちのための親支援、家庭支援 4階 研修室

仙台市児童保育連絡協議会の実態調査の結果を受け、各地の状況を中心に情報交換をしましょう。困難を抱えながらも児童館や児童保育にたどり着けない家庭もあります。子どもたちが安定できる家庭生活を支えるためにどう取り組むか、互いの知恵を出し合いましょう！

コメンテーター：小暮健一 (NPO法人所沢市児童クラブの会指導員、大学院生)

第2分科会：子どもたちに地域でできること、そのために必要なこと 4階 研修室

困難のある子どもたちに寄り添うのに単独の地域施設の限界を感じている人は多いはず。福生の児童館は地域のつながりに解決策を見出しました。仙台市では発達障害の子の放課後支援を切り口に児童館・放

「第11回 東北の児童館・放課後児童クラブ学びと交流の集い」参加申込書

世話人の皆さんは、お名前と過年度からの変更事項、該当事項のみご記入ください。

(必要によりコピーしてご使用ください。)

(ふりがな) お名前	( )	性別	男 ・ 女
自宅住所	〒 電話番号： FAX 番号： E-mail：		
所属施設・団体	県 市町村	[ [ 団体名：	]児童館 ]学童(児童)クラブ
所属施設・団体住所	〒 電話番号： FAX 番号： E-mail：		
第1日目 イベント	参加します ・ 参加しません		
第1日目 交流会	参加します ・ 参加しません		
第2日目 希望分科会	第1希望 ( ) 分科会 ・ 第2希望 ( ) 分科会		
配付資料の持ち込み (販売可)	あり ・ なし 児童館や放課後児童クラブのお知らせや行事のチラシ、出版物等		
事務局への連絡欄：	何でもご自由にご記入ください。メッセージのみの参加も大歓迎です！		

集い両日は、仙台の七夕に並ぶビッグイベント「定禅寺ストリートジャズフェスティバル」です。公共交通機関・宿泊とも混雑が予想されるため、余裕を持って予約されることをお勧めいたします。上記の事情で、今集会では、宿泊のあっせんは致しません。どうかご了承ください。

【申し込み先】

F A X： 022-215-9867

E-mail: [touhokutudoi@yahoo.co.jp](mailto:touhokutudoi@yahoo.co.jp) (第11回集い実行委員会)

〒980-0811 仙台市青葉区一番町4丁目1-3 仙台市市民活動サポートセンターNo.62  
東北の児童館・放課後児童クラブ学びと交流の集い 宛